

事前講義・見学・実習に対する感想

事前講義

世界中で核融合の研究が進められているということは、それだけ新しいエネルギーが必要とされているんだなと思った。

スケールがすごく大きかった。すごくたくさんの構造の複雑な機械も、いろいろな分野の人たちが協力しているのだと思った。

核融合での1億℃というのは、どれだけ高温なのかがわかった。プラズマを閉じこめておくだけでも、難しいと思った。

普段学校ではあつかわないような内容で、むずかしかったけど、色々知ることができてよかった。

講義は、スクリーンで説明して下さり、とてもよく分かりました。少しむずかしい所もあったけど、ほとんどよく分かりました。

わかりやすくて、今まで知らなかった新たな世界が見られてよかった。

とても細かいところまで詳しく説明してくれた所がよかったし、環境問題とも関連させて、この核融合施設の重要性がわかった。

見学及び実習

LHDの装置を上から見てみたかった。

光の反射率を目で見て、観察したことがなかったので、新鮮な感じがしました。

バーチャルリアリティーの実習は、ものすごく立体的に見えて、おどろきました。

実験を見たあとに、その実験の原理を自分で発表したおかげでより理解することができた。

頭でわかっていることでも、口にだして説明をしてみるとうまくできなかつた。だけど、説明することでしっかり整理されてよくわかるようになった。これから勉強するときにも説明をしてみて、整理できるようにしたい。研究所は全ての装置が大きくて迫力があつた。

研究所の中には、とても複雑で大きな機械もたくさんあるけど他にもいろいろな工夫が詰めこまれた場所だと思いました。プラズマ真空容器がとくに印象に残っています。中には超高温のプラズマが通るのに、外の磁石は冷たくたもつという技術がすごいと思いました。真空で熱を通さないようにし、さらに断熱材を使い、可能にできることがすごいと思いました。

超高温になるプラズマを装置の中で、どうやるか疑問で、プラズマが宙に浮いている状態で真空状態にして、コイルを冷やして、1つのことに色々な工夫がされていて驚いた。

Photo Library

フォトライブラリー

